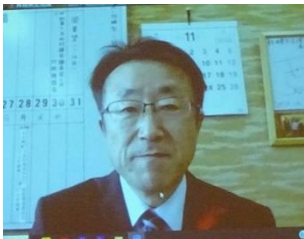


令和4年度 北海道・東北地区 行政・生協連絡会議を開催しました



生協と行政が情報交換し連携を深め、地域社会へ貢献することを目的に開催しており、今年度は秋田県が担当県となりました。11月9日(水)秋田キャッスルホテルを主会場に、東京と7道県をオンラインで結び、厚生労働省2名と行政関係者12名、生協関係者24名の計38名が参加しました。



秋田県 真壁善男生活環境部長



秋田県生協連 三浦貴裕会長理事



国際教養大学 工藤尚悟准教授



司会 秋田県 町本智美副主幹

国際教養大学の工藤尚悟准教授から「人口減少社会における持続可能な地域づくり」の報告をいただき、参加した7道県からは「SDGsと消費者教育の取り組みや行政と生協の連携」をテーマに報告され、情報交換しました。

次年度の開催県は青森県です。

右: 主会場の様子



あきたユニセフのつどいを開催しました



10月25日(金)秋田キャッスルホテルに、組合員・役職員61名が参加しました。2019年以来3年ぶりの開催となりました。

2021年度のユニセフ指定募金に対する感謝状が、三浦貴裕会長理事から会員生協へ贈られた他、日本ユニセフ協会の石尾匠氏より「東ティモール指定募金とウクライナ緊急支援活動について」報告をいただきました。

参加した組合員からは「募金の使途など詳しい報告を聞き、改めて支援の必要性を感じた」「オンラインであることを感じさせない報告を聞いて満足」「一堂に会しての開催でコミュニケーションが取れた」という感想をいただきました。

右: 会場の様子



感謝状を贈る三浦貴裕会長理事



～東北6県生協連による灯油要請行動へ参加しました～

東北に住む私たちにとって暖房は必要不可欠であり、灯油はその主要エネルギーとして欠かせない必需品です。10月28日(金)家庭用灯油の本格的な需要期を前に灯油の安定供給と価格抑制を求めるため、東北6県生協連の代表者が東北経済産業局に要請行動を行いました。

要請書では価格の安定的な供給体制の確保、生活弱者支援につながる政策の実施、価格抑制策を講じること等を求めました。



要請書の提出 (右)東北経済産業局 幸坂隆憲課長
(左)青森県生協連 三浦雅子専務理事